

創刊110周年記念

# 誇れるふるさと

## 24地区リレー

〈vol.9〉

### 〈西宇部④ 散策マップ〉

多数の史跡が点在する西宇部地区。ウォーキングイベントなどを催している「よのあい処西ヶ丘」の新谷弘昌代表の案内で、JR宇部駅北側を1時間半ほどかけて散策し、地区の魅力に触れた。



# 宇部駅北側の史跡、自然巡る

## まち並み望めるスポットも



西宇部ふれあいセンターを発着点とした約3キロのコース。まず訪れたのは同センターの裏手にある「大歳の森」(①「写真」)。里ノ尾の人たちが豊作を願って建立した大歳神社が鎮座しており、寺社由

来には、田中大明神とともに里尾村沖古開作守護神と書かれている。社殿の前には、「千石岩」と言われる大岩がある。同センターから1本南の道路を東に進み、二葉保育園前の路地を左に曲がると、薬師堂の半鐘(②)が見える。1883(天保4)年癸巳(みずのとみ)3月の年号と数人の先祖の名前が刻まれたとされる。元の道に戻り、西宇部小百合幼稚園前を北に進んで呉企業局厚東川工業用水道事務所(③)へ。厚東川ダム、宇部丸山ダム、美祿ダムからの工業用水道を管理しており、

駐車場からは同地区のまち並みが望める。西宇部小へとつながる道路を左に曲がると、始良(あいら)火山灰露出地層(④)がある。約2万5000年前、今の鹿兒島湾を噴火口とする始良火山の大爆発が続き、噴煙は関東地方まで達した。宇部付近では厚さ40〜50センチのシラス層となつて残る。同校近くのため池「岩瀬田堤」では、群生するスイレンが6〜9月ごろに咲く。

西宇部病院の手前の上り坂を進むと「にしうべ里山」(⑤)がある。石のテーブルやベンチ、灯籠などが設置してある私設の自然公園となつてい

次は、985(寛和元)年に宇佐八幡宮の分霊として建立された平原八幡宮(⑥)。境内には移設された田中大明神のほこらや市指定天然記念物で樹齢約300年のイヌノキがある。最後に訪れた浄土真宗の明照寺(⑦)では、1829(文政12)年から72(明治5)年の間、寺子屋が開かれていたという。

同センターには同地区まちづくりサークルが作成した散策マップが置いてある。併せて散策してみるのもいいだろう。

次回は神原地区。10月4日スタート。